

㈱京都西川取締役営商企画事業部長	小山田修二 様
山甚物産㈱リビング本部部長	丸山 敦司 様
田村駒㈱第2事業部第3部課長	松田 巧 様
㈱大津コーポレーション商品部長代理	桑畑 康之 様
日本羽毛製品協同組合 専務理事	山本 正雄 様*欠席
西川産業㈱品質管理室シニア M (オブザーバー)	根本 宏幸 様
東レ㈱GO 事業部主幹	堀野 哲生 様*欠席
東レインターナショナル㈱電子情報材料部主任	瀬尾 尚也 様
西川産業㈱システム企画部課長	山本 重次郎様
㈱京都西川経営業務推進室マネージャー	福永 博樹 様*欠席
㈱繊維情報システムセンター社長	金谷 範之 様
JBA: (一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 中村 富夫

JBA 第 4 期 : 第七回 需要創出・啓発委員会 議事録

記

1. 開催日時 平成 29 年 10 月 26 日 (木) 13:30~15:30
2. 開催場所 (一社) 日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) RFID 具体的活用検討について

JAN コード使用状況調査集計報告
RFID 準備打合せ会報告

(2) 「J∞QUALITY 百選」展と今後の拡大策について

(3) 健康睡眠啓発活動について
11 月 9 日 宗像市、11 月 10 日小浜市、11 月 11 日福井市
各消費生活センター主催:「質の良い睡眠の為の寝具の選び方」

(4) その他 (毛布の日企画等)

議事録 (議題 1)

中村 JBA : 資料有り 団体会員企業含め 205 社 報告企業 97 社 使用企業 56 社の使用状況集計の報告をした。

金谷社長 : RFID タグは個体識別番号で付属的に JAN コードを使用する併用タグである。

山本課長 : リフォーム品は可能性として他社品多く、桁数同じなら読み込む可能性がある。なので社名を入れ込んだり、再販策のことも考えなければいけない。

瀬尾主任 : データ入力の最大桁数内にも納めなければいけない。

金谷社長 : 資料有り 厚労省等へのRFIDタグ補助金申請内容を説明する。
概要は、事業年度は2～3年間、初年度2000万円予算となる可能性もある。
サーバー等機器類の購入補助はない。

山本課長 : 資料有り JBA内にサーバー設置の場合での使用シミュレーションを説明。
RFIDタグ自体にデータ書き込みでなく、JBA本体サーバーに書き込みする。
在庫先入れ先出し等は各企業サーバー対応がよいが エラー発生も多くなる。

小山田委員長 : 初年度どこまで実証をやるのか検討したい。

奥谷専務 : 各会員企業がRFIDに求めるものは入出庫である。棚卸し作業効率化は絶対なので、初年度は在庫棚卸システムから始める方法があるが、寝具業界独自の需要創出/買い換え促進策を付加する必要がある。

山本課長 : JBA内サーバーへの書き込み等で実証していくのがスタートしやすい。

小山田委員長 : 会員企業の人件費、営業利益、原価償却費等をどのように把握するのか。

奥谷専務 : 総売上高、人件費比率、営業利益2%予測等 業界データから記入可能である。
原価償却用の新規投資は少ない業界であり捉えづらいので金谷社長のアドバイスを頂戴したい部分である。

初年度のやるべき課題の入出庫管理については各社どうなのか。

桑畑委員 : 事前出荷明細通知(入り日記)は実施している。

丸山委員 : FAXで事前入荷案内をもらう程度である。

金谷社長 : 事前入荷検品システムをJBAサーバーでシステム化し参加企業に流用願うのがよい。事前入荷案内数と検品数の相違判明作業は入出庫同様実施しないとイケない。

奥谷専務 : 在庫棚卸システムは各会員先で実施しているが、JBAサーバーで構築し流用してもらい入出庫棚卸しの標準化をしたい。

金谷社長 : メンテナンス情報等の需要促進システムも同様に検討したい。

山本課長 : 各会員毎に品番とかバラバラなので、JBAサーバー流用法となると205社の桁数等の標準化統一の必要がある。

瀬尾主任 : 各会員バラバラなのを最大公約数捉えて進めることである。

山本課長 : サーバー設置のない中小会員がJBAサーバーへのアクセスが頻繁になると思うが、RFICタグへの書き込み量は限られる。

瀬尾主任 : 小売店頭でのハンディタイプから書き込み可能であるが実際面は困難作業だ。

奥谷専務 : 最初から入れ込んでおくことが重要である。実証実験をどこでどのようにやればよいのかは、数量の多い毛布、ダウンケット類から始めるのがよい。
また、返品は百貨店が多いのでそこ狙いで始める方法もあると思う。

山本課長 : RFIDタグは10円～60円まで種々ある。シール型とかで入出庫が可能であるかの検討も必要である。

奥谷専務 : リネンタグは50円からあり、羽毛製品ではコスト吸収は可能である。

山本課長 : タオル類では製品価格面から、それなりのRFIDタグが求められる。

- 奥谷専務 : 盗難対策ではバッジ等でやっている面もあるが、モノと売上が見えてこない
ので実証実験してみたい。
- 山本課長 : ビームスでは 店舗出口でアラームフラッグが点灯するようになっている。
- 奥谷専務 : 入在庫からスタートして、JBA サーバーとのリンクを図り、そしてどの商品に
して、どのタグしたらよいかを実証していきたい。

議題 (2)

- 奥谷専務 : 百選展に 975 名来場があり、ギャラリーアイ賞で寝具部門 西川産業四季島
のカバー類が選定された。 11 月 1 日号織研新聞記事掲載され、JBA ホーム
ページにも UP する。
- 丸山委員 : 百選 展示会の声として、寝具類はアパレルと違い、わかりやすく機能面等
ストーリー性よく展開されていたと思う。
- 根本委員 : 2018 春夏の商品認証含めてノミネートお願いしたい。
- 奥谷専務 : 商品認証面で 匠の技の裏付けとなるデータチェック、エビデンスは厳密精
査しないと、機能面優位の寝具類ゆえに J[∞]QUALITY ブランドの権威失墜にな
らないようにしないといけないと思う。

議題 (3)

- 中村 JBA : 各消費生活センターからの要望による健康睡眠啓発活動を 11 月宗像市、小
浜市、福井市で開催する。開催模様は JBA ホームページにアップする。
- 派遣講師は 吉兼睡眠環境・寝具指導士認定委員会委員長と、私である。
今後は、睡眠環境・寝具指導士認定委員会が講演内容、パワーポイントを標
準化していき、4 月 11 日大阪、12 日東京会場での更新ポイントセミナーで徹
底講習していく予定である。

議題 (4)

- 桑畑委員 : 毛布の日企画は予定通り進行している。
- 奥谷専務 : JBA ホームページの一新立上げ日が、11 月 6 日 (月) である。会員専用ペー
ジもあるので是非チェックしてほしい。
ユーザークリック内容等を集計チェックしてグレード UP を逐次図る予定です。
- 小山田委員長 : 10 月 27 日に日本環境設計工場を訪問し、寝具類の単一繊維化リサイクルシ
ステムを見てきます。興味あることであり、内容次第では 担当野口氏の会
議招聘も考えます。

次回開催は 11 月 22 日 (水) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分です。

以上